

## 臨床工学室

### 《概要》

臨床業務(心臓血管造影室業務・血液浄化関係業務・体外循環関係業務・不整脈関連業務・ME機器関連業務・呼吸療法関連業務・手術室関連業務等)の拡充により、業務量の増大併せて高度な知識・技術の維持が求められる。また、医療安全と医療経済の視点から高度医療機器の保守管理が必須である。

一方、臨床工学室スタッフ 1 名の入れ替わりにより(瀧脇栄治、河野栄治、中谷暁洋、岩本匡史、大畑達哉、三代千恵、川上遊貴、町田麻美)実質的には戦力 Down となってしまった。新しい臨床工学技士がなんとか一人で業務を行えるようになるには、最低でも3年以上の経験が必要である。今年も非常勤職員の離職により、臨床工学室全体としては業務体制維持に難渋した一年であった。

BSCでは、質の高い医療技術と知識の提供、日常業務の標準化による安全と効率の向上を掲げている。学会・研修会・勉強会等への参加は例年の通りであった。目標管理シートの運用を試みたが、実施評価が十分にできなかった。業務マニュアルの作成に関しては、各自取り組み始めたところで、完成は来年度以降になる予定である。新たに取り入れた臨床業務(心臓ペースメーカー外来やRFAの操作)に関しては、大きなトラブルもなくスタートを切ることができた。

来年度は、目標管理体制の確立と日常業務マニュアルの整備をさらに進めていく予定である。

### 《実績》

#### 心臓血管造影室業務

総症例数	919症例
経皮的冠動脈形成術	376症例
緊急症例	181症例
血管内超音波	346症例
血管内光断層撮影	49症例
冠動脈内圧測定	82症例
右心カテーテル検査	79症例
薬剤負荷試験	23症例
電気生理検査	14症例
経皮的下肢血管形成術	23症例
心筋生検	3症例
下大静脈フィルター留置術	6症例
高速回転式粥腫切除術	34症例

#### 血液浄化関係業務

血液浄化センター	
血液透析	2, 108件
LDL 吸着	19件
白血球除去療法	16件
血漿吸着	3件
血漿交換	3件

二重濾過分離血漿交換	2件
腹水濾過濃縮	1件
ICU/CCU	
持続的血液濾過透析	98件
血液透析	67件
持続的血液透析	9件
血液濾過透析	75件
血液濾過	0件
持続的血液濾過	13件
単純血漿交換	2件
血漿吸着	1件
エンドトキシン吸着(PMX)	6件
体外循環関係業務	
人工心肺	91症例
完全体外循環	54症例
脳分離体外循環	22症例
部分体外循環	11症例
低体温循環停止	4症例
Off Pump CABG	8症例
自己血回収術	18症例
補助循環	
経皮的な心肺補助	20例
大動脈内バルーンパンピング	41例
不整脈関連業務	
恒久的ペースメーカー埋め込み	29症例
恒久的ペースメーカー本体交換	8症例
ICD埋め込み	1症例
ICD本体交換	1症例
CRT-P埋め込み	4症例
CRT-P up-grade	1症例
CRT-D埋め込み	2症例
CRT-D up-grade	1症例
ペースメーカーフォローアップ業務(院内業務・外来業務)	642件
カテーテルアブレーション	16例
ME機器関連業務	
ME機器修理受付件数	792件
保守点検件数	249件
ME機器貸出総数	1, 376台
シリンジポンプ	486台
輸液ポンプ	805台
その他	85台
人工呼吸器・麻酔器関係業務	
人工呼吸器	

院内ラウンド回数	53回
メーカー定期点検	1件
院内 CE 定期点検	10件
麻酔器業務	
メーカー定期点検	2件
RCT 患者件数(2010/06/01～2011/03/31)	57件
ラジオ波焼灼治療立会	
総件数	27件
乳腺腫瘍	22件
肝臓腫瘍	5件